

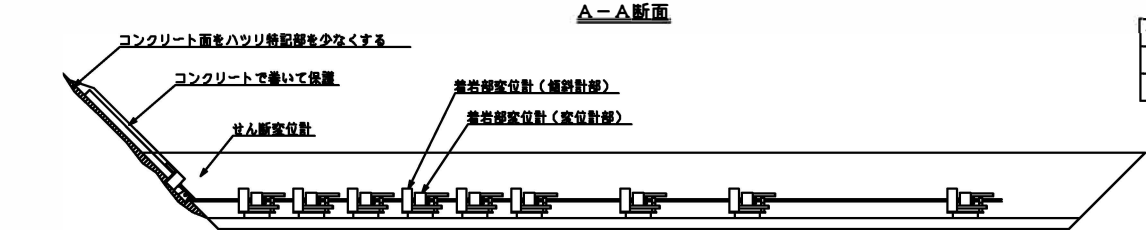
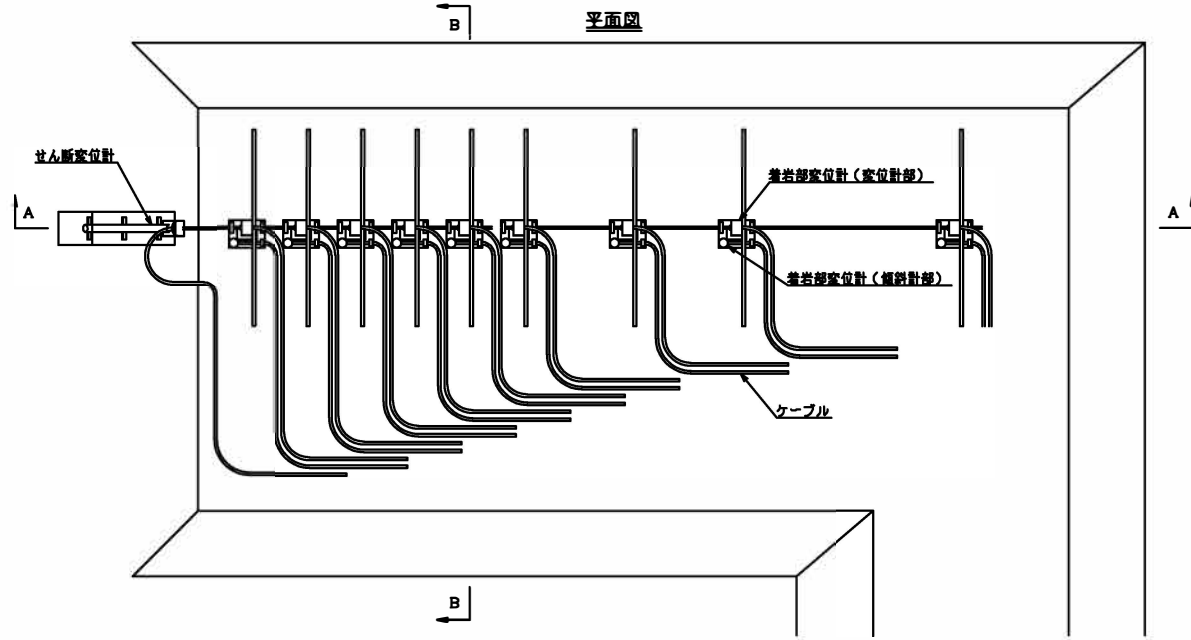
せん断変位計・着岩部変位計の設置例

[せん断変位計]

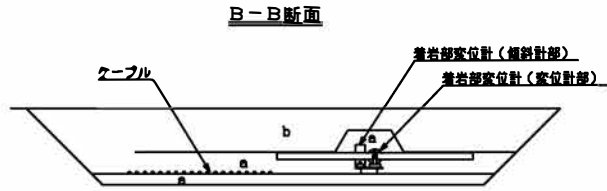
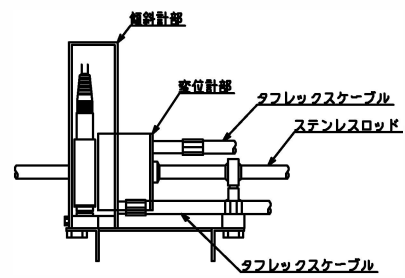
1. 位置出し  
所定の位置の通廊コンクリートに設置位置をマーキングする。
2. 計器設置  
所定の位置の通廊コンクリートにせん断変位計の取付架台をアンカーボルトで固定する。  
取付架台に変位計を設置する。
3. 初期値設定  
計器設置後、データを測定し、初期値とする。
4. コンクリート打設  
せん断変位計の周囲にコンクリートを打設し、固定する。

[着岩部変位計]

1. 床掘  
計器設置標高より+60cm盛り立て完了後、計器設置用床掘を行う。  
床掘は計器設置標高より-10cmまで行う。  
床掘面から、大径材を取り除き、ランマーまたは1トンローラで平らになるように転圧する。
2. 計器設置  
埋設ゾーンと同材料をフルイにかけて、50mmアンダー材、20mmアンダー材を予め用意しておく。  
20mmアンダー材を使用し床掘面を計器設置標高まで埋め戻し、タンバ及びランマーで転圧する。  
取付金具に変位計及び傾斜計を取り付け、所定の位置に水平に設置する。  
計器設置箇所を木づち等で計器がびったりと貼り付くように整形する。  
計器周辺を20mmアンダー材で所定の厚さになるように埋め戻す。  
施工天端まで50mmアンダー材で埋め戻す。
3. 初期値設定  
施工天端まで50mmアンダー材で埋め戻しが完了したらデータを測定し、初期値とする。



着岩部変位計詳細



計器埋戻し材料

記号	埋戻し材料 (粒径)
a	鋪設材 (20mmアンダー材)
b	中層材 (50mmアンダー材)